

令和3年度第1回別院中学校ブロック協議会 議事録要旨

■日時

令和3年7月15日（木）午後7：30～午後9：40

■会場

別院中学校 3階 多目的室

■傍聴者

7人

■議事

- 1 開会
- 2 別院中学校ブロック学校規模適正化実施計画について
- 3 質疑応答
- 4 閉会

■質疑応答等発言内容

座長 (教育総務課長)	次第の2「別院中学校ブロック学校規模適正化実施計画について」事務局から説明いただきたい。
	<事務局説明>
座長	今、事務局から「別院中学校ブロック学校規模適正化実施計画について」説明があった。何か質問・意見があればお願いしたい。
委員	昨年のブロック協議会で承認を得て計画を進めていると説明があったが、昨年度のPTA会長からは承認した記憶はないと聞いている。どのような経緯で今に至るのか。
座長	令和2年8月6日のブロック協議会では、今回のような時期等を含めた具体的な案は示していない。今回と同じように別院中学校を南桑中学校に編入する考えについて示したところである。この案で地域に説明に入って良いか確認をとり、委員の皆様から十分に意見を聞くことで前回は確認した。
委員	当時の会長からはその場にいる会長たちだけでは判断ができないので、持ち帰

	<p>って皆に聞く、という段階で終わっていたと聞いている。</p>
座長	<p>もちろんその場で案が決定したわけではなく、当時の案をもって地域に説明に入ることに了承を得たということである。PTAの中でも会議が出来ていないことも聞いていたので教育委員会からPTAにも説明していくということになった。</p>
委員	<p>令和5年4月から編入するというので1年半の準備期間が設けられている。これまでも準備期間は設けると説明はあったが、自治会としてはこの案について聞いていない。PTAは令和5年から編入することに了承したのか。東別院町は了承していない。もっと検討してほしい。いきなり令和5年4月から編入と言われても、頷くことはできない。PTAと十分に話をして慎重に実行してほしい。</p>
座長	<p>ブロック協議会は意見をいただく場になっている。委員の皆様にも案に対して承認をいただくものではない。令和5年4月からという案は今回改めて提案しているものとなる。これまでの説明会で東別院町では今のままがいいという意見があったのも認識している。一方で、保育所のアンケートにもあったが、これから入学する方の中には少人数であることに不安を抱えている意見もあることを認識している。個々の事情もあることは理解しているが、人数が少ないことで転出したり、別院中学校以外の学校に進学していることが実際にあることから、今後の推移どおり人数が確保できるかどうか分からないのが現状である。もちろん賛成の意見ばかりではなく、反対の意見も聞いているが、教育委員会としては平成28年から取組を進めてきて、それまでの間、子どもたちや保護者に不安を与えているのも事実であるため、教育委員会が決断するというので時期も含めて、改めて提案した。</p>
委員	<p>令和5年4月からというのは案と言うことで決定ではないということか。現状の東別院町では、反対している人が多いので、保護者も子どもも納得いかないと思う。時間をかけて進めてほしい。</p>
委員	<p>人を増やそうと両町で努力している。少しずつ進んでいるときに別院中学校を編入させるのはどうかと思う。再度慎重に検討していただきたい。我々からしたら、今回の案は決定にしか思えない。東別院町の現状を考えたら簡単に編入させるべきではないのではないかと。何とか保護者の意見を聞いてから進めるべきではないか。</p>
委員	<p>中学校の特認校の件で、できないと説明があったが、内容に対して東別院町では納得していない部分もある。できないではなくて、できるように考えてほしい。小規模でも成績がいい子もいる、それが大規模になってできるかどうか分</p>

委員	<p>からない。小規模でもいいところがある。学校訪問で悪いところを見るのではなくていいところを探してほしい。</p> <p>以前の案が白紙撤回になったのは平成29年1月くらいだったと思う。西別院町は当時の教育長に再度検討してほしいことを伝え、学校問題検討会議を作っているいろ考えてきた。その後、西別院町では様々な意見があったが、早く決めてほしいという意見で固まった。個人的には中学校がなくなるのは寂しいが、早く方針を出して当事者の親にどうするかを考えてもらわないといけない。編入したら小規模校から大規模校となる。少人数が良くて他の地域から特認校制度を利用して来ている人がいる。そのことについては尊重するが、統合後には人数が増えるため、少人数が良くて他の地域から来ている子どもが仲間外れにならないような環境を加配を付けるなどして学校の受け入れ態勢を万全にしてほしい。</p>
委員	<p>1時間ではこのブロック協議会は終わることができないのではないかと。教育長も心の中では決まっていると思うが、もっと慎重に進めなければならないのではないかと。説明会もコロナ禍だったことも影響しているが、まだまだ不十分ではないのか。</p>
教育長	<p>最終的には教育委員の皆様と判断することになる。自治会長お二人からは要望もどんな方向に進めたいかも聞いている。説明会や個々でも話してきた。子どもたちの将来を考えた時、いつまでこのままで待ち続けるのか、ゴール地点が見えないのは子どもたちも不安だ。5年、10年先に実施となれば、今この場にいる委員の皆様は果たしてこの立場で残っているのか。学校訪問時にもあらさがしをしたわけではなく、しっかりと現状を見させていただいた。他市の学校への訪問など一つひとつに対して覚悟を持って動いている。中学校の段階でいろいろな経験をさせるのが大人の役目である。亀岡市の子どもたちのことを考えて環境整備をしていくのが我々教育委員会の役目であり、これまでや今回の意見全てをもって地域別推進協議会も開催していく。子どもたちのことを考えて進めていることに御理解と御協力をいただきたい。</p>
事務局	<p>小規模特認校制度の話はどの地域に行っても話題として挙がってくる。ただ、亀岡市の人口は減ってきている。12歳の人口は839人、7歳の人口は727人となり、比較すると100人以上減る。1歳の人口は545人しかいない。年齢の低い子どもたちが減っている状況から考えると、小規模特認校制度を導入しても子どもの取り合いになってしまう。亀岡市の今後の人口のことも考えてほしいし、それでいいのかと感ずるところである。</p>
委員	<p>ある程度の人数がいて、多様性を生むことが出来る環境で子どもたちを育てる必要があると説明があるが、それが良ければ特認校制度を利用することはない。</p>

	<p>今特認校制度で来ている人も東別院という自然があふれている環境を好んで通わせている。少人数になるかもしれないが、それがすべてではない。そのような環境で学ぶ子どもたちも大事にしてほしい。</p>
事務局	<p>東別院町の中で努力して人を増やそうとしているのも教育委員会では理解している。ただし、亀岡市全体の人数は減ってきているのでいつまで特認校制度を利用して通う人がいるかどうかは保証しかねる。</p>
委員	<p>特認校制度の説明会をしていると思うが、いつから学校規模適正化のことも含めた説明をしているのか。</p>
事務局	<p>今年度から入学する方に説明をしている。</p>
委員	<p>それまでに特認校制度を利用して入学してきている人にはどのように説明していたのか。</p>
事務局	<p>進学先の中学校か住所地の中学校に進学することになると説明している。</p>
委員	<p>昨年度までに特認校制度を利用して入学した人は別院中学校に行くつもりをしているはず。南桑中学校に編入するかもしれないことを説明していないなら、せめてその子が別院中学校を卒業するまで中学校を残すなどしてほしい。</p>
事務局	<p>令和5年度から編入するという案を提示しているため、令和2年度までに特認校制度を利用して入学した子どもが別院中学校を卒業するまで待つことは教育委員会としては考えていない。</p>
委員	<p>今回の最終案が白紙になることはあるのか。</p>
座長	<p>今回のブロック協議会の意見をすべて教育委員に伝えた上で判断いただくことになる。</p>
教育長	<p>この案で地域別推進協議会にかけて、教育委員に検討してもらおう。これがだめなら、また一から考えるし、了承がもらえたらこの案で決定することになる。</p>
座長	<p>様々な意見があるのは認識している。今回は中学校について提案して決定をしていくことを考えている。小学校については、特認校制度を導入してから5年経っているのでしっかりと検証するとともに早く計画を進めてほしいという声もあるので方向性は示していきたいと思っている。</p>
委員	<p>急いで進めると説明があるが、急ぐことに理解できない。もっと時間をかけて</p>

	進めればいいのかではないか。了承をしていないのに進めることに理解ができない。
委員	前回のブロック協議会から同様に了承を得ていないにもかかわらず進めることに納得いかない。
委員	案に了承したわけではなく、コロナ禍でPTAが集まる機会もなかったのでこの案を持って説明に行くと言うことに了承を得て、前回のブロック協議会は終わった。説明会も回数を重ねていることは聞いているし、理解が得られていない部分があることも聞いている、一方で、早く進めて多い人数の中で学ばせたいと言う声があるのも聞いている。いろいろ意見があるのでそれを踏まえて教育委員会も検討してこの最終案を提示していると思う。
委員	個人的には、何のために特認校制度を導入したのか分からない。小学校の人数を増やす目的もあるが、小学校の先には中学校がある。特認校制度を継続して今より良くすることで中学校も人数が増えると思う。もっと長い目で見て検討すべきではないか。
委員	学校をなんとか残したいという思いから特認校制度を導入してほしいことを当時の教育委員会にも話に行った。広報なども様々な側面から努力していただいている。教育委員会にはこれまでこちらの要望は全てやっていただいている。今の説明のように中学校の人数増にも繋がればいいが、結果繋がっていないことから教育委員会もこれでいいのかと考えたところだと思う。
委員	一緒に人数が増えるようなことを考えたらいいのではないかなと思う。
委員	そのような意見が教育委員会の方々に伝わると思うし、話したことが議事録に残り、今後教育委員会で議論されていくことになるので意見は言ったほうが良い。それが結果的に一緒に考えていくことに繋がるので、どのような意見も重要だ。
委員	中学校をなくすことが町がなくなることに繋がるのではないかなと思う。子育て世代は中学校がなくなれば、引っ越すことも視野に入れる。そうなると今以上に高齢化が進む。委員としてではなく、個人的な意見ではあるが、町のためにも今後の発展に期待して中学校を残してほしいと思う。
教育長	別院中学校を閉校する決断をする時には自分が教育長であると、覚悟はしている。私としては「なくす」というわけではない。名前は消えるが、子どもたちの学ぶ場を保証するためにこの先を見据えて、人数が確保できる近くの南桑中学校に編入していく。決して別院中学校をなくすわけではない。自然になくな

	<p>るまで待ち続けるのはどうかと思う。努力しても本来の中学校の適正な人数には追い付かない。今こそ皆で知恵を絞って子どもたちのために計画を進めないと同じことの繰り返しになる。今後、確実に子どもの数は減っていくので、できる限り活気のある場所を提供していくのが我々の使命である。時間的にも今がギリギリである。別院という名前は今後も残っていく。子どもたちがいなくなるから町に活気がなくなるというのは大人の都合である。子どもたちがしっかりと成長して地元に戻ってこれるようにするのが大人の役割である。そのためできるだけ早く方向性を見出すのが重要である。</p>
<p>委員</p>	<p>中学校の現場にいる人間として、また、卒業生としての意見になるが、当時は100人以上の生徒数がいて、3年間通していろいろな集団活動ができた。現状の在校生は1年生が2人、2年生が12人、3年生が2人の計16人。先日その人数の中、修学旅行に引率した。大きく2つのことを思った。1つ目は2人の生徒と担任が信頼関係で結ばれていること。2つ目は、3日間の修学旅行はかなり暑かったにもかかわらず、2人の生徒は一切後ろ向きな発言をしなかった。それ以外の学年の子どもたちもとてもいい子である。そのような子どもたちを見て、学校長として誇りに思う。ただし、今の1年生を見た時に女子生徒がおらず、今後3年間異性との関わりがないまま学校生活を送らせないといけないことや、3学年のうち2人の学年が2つもあること。教員たちはその中でも一生懸命教育しており、少人数の良さはあるものの人数や異性が増えれば教育効果は全然違うものになるのではと常に感じている。教育現場としてはコロナ禍に関わらず、小規模すぎて常に逼迫し教員もかなり厳しい状況にある。それらを踏まえると何とかしたいという思いでいっぱいになる。また、学級での教科の授業を見た時に、子どもたち同士で意見を交わし、学び合って学習効果を高めることが今の別院中学校ではできない。そのような現場の声があることも理解しておいてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>現場の教員としては少人数のほうが教育的には難しいということか。</p>
<p>事務局</p>	<p>校長としての立場では回答しづらいことかもしれないので事務局から答える。学校現場は限られた教員数で一生懸命教育を行うのが使命である。ただし、少人数には良さもあるが課題もあり、教育委員会としては、人数が少なすぎるという課題を補うことが物理的に難しいのでなんとか環境を整えたいということや、子どもたちを不安にさせるのは教育委員会としても学校としてもよくないと強く思う。学校は与えられた環境で頑張っているし、学校長は与えられた使命を遂行していることは理解しておいてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>会議を次の段階に進めるのは待ってほしい。東別院町はまだ理解していない。他の保護者に対して説明して意見を取り入れてから進めてほしい。それから次の段階に行ってもらいたい。この場にいるPTA会長だけの意見だけで次に進むの</p>

	は早いと思う。
委員	最終案の時期について聞いたのが初めてなのは西別院町も変わらない。それでも子どもたちのことを考えると早く進めないといけない。
委員	この最終案の説明は他の保護者にはしないのか。この最終案を聞きたい保護者もいると思う。これまでも編入に対する説明は受けてきたが令和5年4月からというのは今回初めて聞いた。それについて他の保護者に説明してほしい。何も説明しないまま次の段階に行ったら決定すると思えない。
座長	編入に対しての意見もこれまでから聞いてきたところであるので、時期について教育委員会が決めて提案していかないといつまでも決めることが出来ない。
委員	令和5年4月から実施するとなった理由を保護者に説明してほしい。
委員	別院中学校に入学することを見据えて特認校制度を利用している保護者や南桑中学校に編入することを知らずに来ている保護者にも説明が必要ではないのか。教育委員会の会議に提案する前に説明会を実施してもらえるか。
委員	今日の内容と同様の案を教育委員会に提案する前に保護者を対象に1回だけ説明会をしていただいて、その場で出た意見もすべて集約して教育委員会でかけたらいいのではないか。
事務局	時期の話になっていると思う。この時期については初めて提示したものである。それを保護者に説明してほしいというのは理解できる。これまでの間、教育委員会としては学校規模適正化を進めるにあたって、説明会で何度も準備期間として1年半の期間を設けることは説明してきた。説明会をする時に、時期について決めていなかったもので、いつから実施するからという説明はできなかった。編入するのに承認を得たから説明会を始めたのではないが、そのようなことを説明していくということに対しては御理解をいただいていると思っている。自治会からもどのような内容かも分からないのに説明会を実施しても意見は平行線なので、案を提示して意見をもらうのが筋だろうということで編入する案を示して説明会をして意見を聞くことについては両自治会長も了承していただいた。
委員	今決めたら1年後の令和5年4月から編入となるということはわかるが、その方向性を再度保護者に説明してほしいということだ。賛成反対のどちらの意見がでるか分からないがその意見も一緒に持って教育委員会にかけるべきではないのかということだ。

委員	意見が出る、出ないに関わらず最終案で説明に来てほしい。このままでは代表として他の保護者に説明できない。傍聴に来ている人の意見が聞くことが出来るような場を設けてほしいと思う。
教育長	説明会をする中で意見が多く出ると思う。今回については、事務の手続きと並行して令和5年4月に進めるということに対しての意見を聞かせていただくので、それを最後とさせてもらって地域別推進協議会並びに教育委員会を開催していく。
委員	町ごとの説明会に加えて、西別院町については、学校統廃合問題検討会議に報告してほしい。
座長	了承した。日程については調整させていただく。 以上で会議を閉じさせていただく。